

平成29年度版

平塚市子ども・子育て支援事業計画
点検・評価

事業評価シート まとめ

教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

目 次

進行管理 総括表	・・・ 1
教育・保育の提供体制の確保の内容	
幼稚園、保育所、認定こども園	・・・ 5
地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容	
(1) 時間外保育事業（延長保育事業）	・・・ 8
(2) 放課後児童健全育成事業（学童保育）	・・・ 9
(3) 子育て短期支援事業	・・・ 10
(4) 地域子育て支援拠点事業	・・・ 11
(5) 幼稚園における一時預かり事業	・・・ 12
(6) 保育所等における一時預かり事業	・・・ 13
(7) 病児・病後児保育事業	・・・ 14
(8) ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動事業）（就学児童のみ）	・・・ 15
(9) 利用者支援事業	・・・ 16
(10) 妊婦健康診査事業	・・・ 17
(11) 乳児家庭全戸訪問事業	・・・ 18
(12) 養育支援訪問事業	・・・ 19
(13) 実費徴収に係る補足給付を行う事業	・・・ 20
(14) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	・・・ 21

進行管理 総括表

(1) 時間外保育事業（延長保育事業）【実利用人数】 P8

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	1,017	999	986	974	972
	実績値	1,938	2,106	1,970		
提供量	見込値	1,017	999	986	974	972
	実績値	1,938	2,106	1,970		

(2) 放課後児童健全育成事業【実利用人数】 P9

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	1,236	1,290	1,351	1,418	1,466
	実績値	1,129	1,098	1,131		
提供量	見込値	1,236	1,290	1,351	1,418	1,466
	実績値	1,129	1,098	1,131		

(3) 子育て短期支援事業【延べ人数】 P10

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0		
提供量	見込値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0		

※本市は実施していません。

(4) 地域子育て支援拠点事業【延べ児童数（ニーズ量）】【実施箇所数（確保方策）】 P11

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	32,338	32,570	32,928	33,450	33,997
	実績値	31,213	34,491	33,493		
確保方策	見込値	4	4	5	5	5
	実績値	4	4	5		

※計画上で提供量を定めていない事業のため確保方策を記載。

進行管理 総括表

(5) 幼稚園における一時預かり事業（1号認定・2号認定合算）【延べ人数】 P12

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	30,206	28,902	28,492	28,169	28,401
	実績値	4,421	11,212	10,168		
提供量	見込値	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000
	実績値	12,400	18,600	18,600		

(6) 保育所等における一時預かり事業【延べ人数】 P13

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	9,981	9,820	9,693	9,580	9,552
	実績値	15,105	15,345	17,036		
提供量	見込値	9,981	9,820	9,693	9,580	9,552
	実績値	15,105	15,345	17,036		

(7) 病児・病後児保育事業【延べ人数】 P14

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	551	541	534	528	526
	実績値	265	311	262		
提供量	見込値	735	735	735	735	735
	実績値	735	735	735		

(8) ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動事業）（就学児童のみ）【延べ人数】 P15

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	1,443	1,412	1,380	1,346	1,296
	実績値	552	574	792		
提供量	見込値	1,443	1,412	1,380	1,346	1,296
	実績値	552	574	792		

進行管理 総括表

(9) 利用者支援事業【実施箇所数】 P16

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	1	1	1	1	1
	実績値	0	0	1		
確保方策	見込値	1	1	1	1	1
	実績値	0	0	1		

※計画上で提供量を定めていない事業のため確保方策を記載。

(10) 妊婦健康診査事業【延べ人数（ニーズ量）】【確保方策は記載のとおり】 P17

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	29,820	29,442	29,106	28,784	28,322
	実績値	21,476	20,841	20,420		
確保方策	見込値	実施場所：総合病院 1箇所、開業医 6箇所 検査項目：国の基準に準じて実施				
	実績値	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施		

※計画上で提供量を定めていない事業のため確保方策を記載。

(11) 乳児家庭全戸訪問事業【実人数（ニーズ量）】【確保方策は記載のとおり】 P18

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	1,734	1,712	1,692	1,674	1,647
	実績値	1,570	1,504	1,674		
確保方策	見込値	看護職員が支援にあたるよう人員の確保に努める。				
	実績値	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施		

※計画上で提供量を定めていない事業のため確保方策を記載。

(12) 養育支援訪問事業【実人数（ニーズ量）】【確保方策は記載のとおり】 P19

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ニーズ量	見込値	10	10	10	10	10
	実績値	6	4	4		
確保方策	見込値	社会福祉協議会に委託しヘルパー派遣を実施。				
	実績値	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施		

※計画上で提供量を定めていない事業のため確保方策を記載。

(13) 実費徴収に係る補足給付を行う事業 P20

計画上、ニーズ量及び提供量を定めていない事業のため省略。

(14) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業 P21

計画上、ニーズ量及び提供量を定めていない事業のため省略。

幼稚園、保育所、認定こども園

【事業概要】

幼稚園は義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を教育・保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身を助長することを目的としています。

保育所は、保護者が日中就労や疾病等により、就学前児童の保育の必要性が認められる場合に、保護者に代わり保育を実施します。

認定こども園は、幼稚園と保育施設が一体化した施設で、就学前の子どもに幼児教育・保育を提供し、地域における子育て支援等の機能も備える施設で、幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4つのタイプがあります。

【現状】

平塚市における、前年度の実績値は次のとおりです。

○平成28年度

		1号	2号	3号	
		3歳以上教育希望	3歳以上保育が必要	1・2歳保育が必要	0歳保育が必要
ニーズ量		3,303 人	2,352 人	1,290 人	220 人
提供量 (確保方策)	【特定教育・保育施設】 幼稚園、保育所、認定こども園	835 人	2,141 人	1,120 人	374 人
	【確認を受けない幼稚園】 上記に該当しない	3,670 人	0 人	0 人	0 人
	【特定地域型保育事業】 小規模、家庭的、居宅訪問型、事業所内保育	0 人	0 人	0 人	0 人
	認可外保育施設	0 人	0 人	0 人	0 人
	提供量合計	4,505 人	2,141 人	1,120 人	374 人
過不足分(提供量－ニーズ量)		1,202 人	▲ 211 人	▲ 170 人	154 人

※平成29年度の集計方法に合わせましたので、前年度の公表値と異なります。

【今後の方向性(計画策定時)】

幼稚園においては、定員に対し、入園率が70%程度となっているため、保育所の見込み等を勘案しながら、認定こども園化の検討をしていきます。

保育所においては、特に1・2歳のニーズに対する施設が不足しているため、幼稚園の見込み等を勘案しながら、認定こども園化の検討をしていきます。

認定こども園については、現在、幼稚園型の私立の認定こども園が1園あり、今後、公立において幼保連携型の認定こども園が平成29年4月に開所予定であるほか、いくつかの私立幼稚園・保育所においても認定こども園への移行を予定しています。

また、保護者の就労状況及びその変化等にかかわらず、柔軟に子どもを受け入れられる施設として、幼稚園及び保育所の機能を併せ持った認定こども園の普及促進は、新制度の大きな目的の一つとなっています。

本市においても、ニーズや動向をみながら、既存の教育・保育施設に対して、認定こども園への移行に必要な支援を行っていきます。

さらに、産休・育休中の保護者が、希望に応じて円滑に教育・保育施設等を利用できるよう努めます。

幼稚園、保育所、認定こども園

【現年度における推定値と実績値の比較】

平成29年度の推定値と実績値の比較は次のとおりです。

○平成29年度

・推定値

		1号	2号	3号	
		3歳以上教育希望	3歳以上保育が必要	1・2歳保育が必要	0歳保育が必要
ニーズ量の見込み		3,813 人	1,928 人	1,373 人	278 人
提供量 (確保方策)	【特定教育・保育施設】 幼稚園、保育所、認定こども園	1,511 人	2,258 人	1,130 人	396 人
	【確認を受けない幼稚園】 上記に該当しない	3,505 人	0 人	0 人	0 人
	【特定地域型保育事業】 小規模、家庭的、居宅訪問型、事業所内保育	0 人	0 人	0 人	0 人
	認可外保育施設	0 人	0 人	0 人	0 人
	提供量合計	5,016 人	2,258 人	1,130 人	396 人
過不足分(提供量－ニーズ量)		1,203 人	330 人	▲ 243 人	118 人

・実績値

		1号	2号	3号	
		3歳以上教育希望	3歳以上保育が必要	1・2歳保育が必要	0歳保育が必要
ニーズ量		3,209 人	2,394 人	1,448 人	263 人
提供量 (確保方策)	【特定教育・保育施設】 幼稚園、保育所、認定こども園	955 人	2,189 人	1,136 人	380 人
	【確認を受けない幼稚園】 上記に該当しない	3,430 人	0 人	0 人	0 人
	【特定地域型保育事業】 小規模、家庭的、居宅訪問型、事業所内保育	0 人	0 人	0 人	0 人
	認可外保育施設	0 人	0 人	0 人	0 人
	提供量合計	4,385 人	2,189 人	1,136 人	380 人
過不足分(提供量－ニーズ量)		1,176 人	▲ 205 人	▲ 312 人	117 人

※特定教育・保育施設の1号認定、2号認定及び3号認定の人数は平成29年4月1日時点です。確認を受けない幼稚園の人数は平成29年5月1日時点の在籍人数です。

※本計画における認可外保育施設とは、本市から運営費補助を受けている施設を指します。現時点では該当施設がないことから、確保方策を0人としています。

〔補足〕各認可外保育施設の特長を踏まえて選択し、入所する児童がいます。認可外保育施設の入所児童数(4月1日時点)は次のとおりです。また、認可保育所に入れず待機している間、認可外保育施設へ入所する児童は極めて少ない状況です。

	3歳以上教育希望	3歳以上保育が必要	1・2歳保育が必要	0歳保育が必要
認可外保育施設(平成28年)	0 人	88 人	36 人	3 人
認可外保育施設(平成29年)	0 人	84 人	34 人	5 人

・従業員の乳幼児のみを預かる施設を除いています。

幼稚園、保育所、認定こども園

・差分（実績値－推定値）

		1号	2号	3号	
		3歳以上教育希望	3歳以上保育が必要	1・2歳保育が必要	0歳保育が必要
ニーズ量		▲ 604 人	466 人	75 人	▲ 15 人
提供量（確保方策）	【特定教育・保育施設】 幼稚園、保育所、認定こども園	▲ 556 人	▲ 69 人	6 人	▲ 16 人
	【確認を受けない幼稚園】 上記に該当しない	▲ 75 人	0 人	0 人	0 人
	【特定地域型保育事業】 小規模、家庭的、居宅訪問型、事業所内保育	0 人	0 人	0 人	0 人
	認可外保育施設	0 人	0 人	0 人	0 人
提供量合計		▲ 631 人	▲ 69 人	6 人	▲ 16 人

【上記結果を受けての次年度以降の方針】

1号認定のニーズ量は減少傾向にあります。2号認定・3号認定は、ニーズ量が提供量を上回っているため、ニーズ量に応じた提供量を確保する必要があります。

これまで認可保育所等の整備（改修・新設）を支援することで、提供量の増加を進めてきました。引き続き整備を支援するほか、待機児童の大半を占める低年齢児（0歳～2歳）を対象とした小規模保育事業施設の整備を支援し、保育の受け皿の拡大を図ります。

併せて、市内民間保育所等における保育士確保を支援するため、貸付金制度に加えて、新たに就労支援交付金制度を創設します。

【備考】

・計画では2号認定の児童について、教育希望が強いものとそれ以外を区別しています。しかし、実際はその区別がないため、教育希望が強いものを1号認定に合算しています。

・実績値において、特定教育・保育施設のニーズ量は平成29年4月1日時点です。また、確保方策は平成30年3月31日時点の利用定員です。確認を受けない幼稚園のニーズ量は平成29年5月1日時点とし、確保方策は平成30年3月31日時点の認可定員です。

(1) 時間外保育事業（延長保育事業）

【事業概要】

保育認定を受けた子どもが、認可保育所や認定こども園等で、通常の保育時間を超えて延長して保育を利用する事業で、支給認定保護者が支払う時間外保育の費用の一部を助成します。

【現状】

過去4年間の実績値は次のとおりです。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	1,573 人	1,721 人	1,938 人	2,106 人
実施箇所数	33 か所	33 か所	38 か所	41 か所

※ 利用者数は実人数

【今後の方向性（計画策定時）】

時間外保育については、アンケート調査によるニーズ量よりも、実績値（平成25年度1,573人）が上回る結果となりました。今後もニーズには十分対応していきます。

【現年度における実績値と確保方策の比較】

平成29年度の確保方策の推定値と実績値の比較は次のとおりです。

○平成29年度

	推定値 (計画掲載値)	実績値	差分 (実績値－推定値)
ニーズ量	986 人	1,970 人	984 人
実施箇所数 (確保方策)	33 か所	42 か所	9 か所
提供量	986 人	1,970 人	984 人
過不足 (提供量－ニーズ量)	0 人	0 人	

※ ニーズ量、提供量は実人数

【上記結果を受けての次年度以降の方針】

平成29年度は、私立幼稚園1園が幼稚園型認定こども園へ移行し、対象者は増加しましたが、平成28年度に比べて利用者は減少しました。これからもニーズに対応できるよう、本事業に取り組んでまいります。

【備考】

fl % ' 七

(14) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

【事業概要】

待機児童解消加速化プランによる保育の受け皿拡大や子ども・子育て支援新制度の円滑な施行のためには、多様な事業者の能力を生かしながら、保育所、地域型保育事業等の整備を促進していくことが必要です。
しかし、新たに整備・開設した施設や事業が安定的、かつ継続的に事業を運営し、利用者の信頼関係を築いていくためには、一定期間必要であることから、新規事業者が事業を円滑に運営していくことができるように、支援、相談・助言、さらには、他の事業者の連携施設のあっせん等を行います。

【現年度における実績】

本市では、未実施です。

【上記結果を受けての次年度以降の方針】

当事業の実施については、本市の保育ニーズの実態を見極め、慎重に検討を続けます。

【備考】